

2022（令和4）年度

大学院医学系研究科
（修士課程）

保健学専攻

学生募集要項

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は、本学サイトを必ず確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容に変更が生じた場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/prospective/admission/health-first/admission.html>

信州大学

信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育・研究の理念】

医学系研究科保健学専攻（修士課程）は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念とします。

精神的・身体的・社会的な側面から人間を全人的な存在としてとらえ、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を社会に還元することにより、健康保持と疾病や障害の予防・治療、医療安全に広く貢献し、人類の幸福と福祉の向上に寄与する保健学を構築します。

【教育・研究上の目標】

- （１）高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を備えた人材を育成します。
- （２）保健・医療・福祉の現場において研究を推進できる人材を育成します。
- （３）国際的な共同研究や活動に参画できる人材を育成します。
- （４）保健・医療・福祉の実践現場で働く有職者の研究活動を活性化します。

【入学者受入方針】

【求める学生像】

医学系研究科保健学専攻（修士課程）では、以下のような学生を求めます。

- （１）高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意のある人
- （２）科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野で物事を考えることができる人
- （３）高度専門職業人として、地域社会の保健・医療・福祉に貢献する意欲のある人
- （４）保健・医療・福祉の領域において、指導的役割を担う意欲のある人
- （５）将来、保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

【入学者選抜の基本方針】

上記の素養を持つ学生を選抜するために、高度な専門知識を国際的視野で情報収集するのに必要な基礎学力を学力（英語筆記）試験により評価し、入学の目的や将来の志望に向けた熱意（態度）、および科学的思考と論理的な表現力を口述（面接）試験により評価します。

インターネット出願について

信州大学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>) (本学ホームページ／入試情報／大学院入試案内／インターネット出願)

インターネット出願サイトでは出願登録のほか、受験票の印刷、受験者心得などの案内の連絡も行います。

登録後にアクセスする必要がありますので、IDとパスワードを記録しておいてください。

◎ 出願から試験当日までの流れ

① 学生募集要項の確認

学生募集要項 (PDF) は、本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んで出願登録を行ってください。

② 出願情報の登録

出願サイトへはパソコンやスマートフォン等からアクセスし、画面の指示に従い入力してください。出願期間の一週間前から事前登録が可能です。

③ 出願情報の確認

出願サイトから出願確認票 (本人控え) を印刷し、登録内容に誤りがないことを確認してください。

④ 顔写真のアップロード

出願サイトにスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した顔写真をアップロードしてください。

⑤ 入学検定料の支払い

「入学検定料支払メール」の記載事項に従い、入学検定料を支払ってください。コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM (Pay-easy での支払い)、ネットバンキングのいずれかで支払いが可能です。

⑥ 「出願確認票 (大学提出用)」の印刷

出願サイトから「出願確認票 (大学提出用)」を印刷してください。

⑦ 出願書類の提出 (大学への郵送)

⑥で印刷した「出願確認票 (大学提出用)」とその他募集要項で指定する出願書類を、出願期間内に大学へ提出してください。

⑧ 「受験票」と「受験者心得」の印刷

「受験番号お知らせメール」を受信後、出願サイトから「受験票」を印刷してください。また、このメールに記載のURLから「受験者心得」にアクセスし、該当する研究科専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

「受験者心得」には、試験場への交通案内、当日の集合 (入室) 時刻、注意事項など受験に必要な情報を記載します。必ず印刷し、試験当日に受験票とともに持参してください。

1. 専攻・分野・領域及び募集人員

専攻	分野・領域	学域	学位	募集人員	
保健学	看護学	基礎看護学	基礎看護学	修士 (看護学)	14人
		成人・老年看護学	成人看護学 老年看護学 高度実践看護師 (周麻酔期看護師) コース		
		母子看護学	小児保健・看護学 リプロダクティブ・ヘルス看護学		
		地域・国際・精神看護学	地域・国際看護学 精神看護学		
	検査技術科学	病因・病態検査学	病態血液検査学 生体分子情報検査学 感染制御検査学 組織細胞病態検査学 神経免疫分子科学	修士 (保健学)	
	理学・作業療法学	理学療法学	先端理学療法学 実践理学療法学		
		作業療法学	生活支援作業療法学 精神作業療法学		

2. 出願資格

保健学専攻（修士課程）には、次のいずれかに該当する方が出願できます。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は令和4年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は令和4年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月までに修了見込みの方
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和4年3月までに修了見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、令和4年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 大学に3年以上在学した方又は令和4年3月までに大学に3年以上在学する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した方又は令和4年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した方又は令和4年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

3. 入学資格審査

『2. 出願資格（8）～（13）』により出願しようとする方は、事前に信州大学医学部大学院係へ問い合わせのうえ、次の手続を行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

(1) 入学資格審査申請書類受付

受付期間 令和3年6月14日（月）～6月18日（金）
（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。）

受付時間 9時～17時

提出先 〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号 信州大学医学部大学院係

(2) 申請書類（※印は本研究科所定の用紙）

①出願資格（9）に該当する方

※入学資格審査申請書 （様式7）	必要事項を記入してください。
最終学歴に関する 証明書	卒業（修了）証明書及び成績証明書 （短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した方は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書及び成績証明書を併せて提出してください。）
最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業（修了）要件、修業年限が記載されている資料
学修に関する資料	履修要覧、科目等履修生等の成績証明書
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

②出願資格（8）、（10）～（13）に該当する方

※入学資格審査申請書 （様式7）	必要事項を記入してください。
在学証明書又は在学期間証明書	出身学部（大学院）の長が証明したもの
成績証明書	出身学部（大学院）の長が証明し、厳封されたもの
推薦書	学科主任、指導教授等が作成したもの（様式任意）
学修に関する資料	履修要覧等
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

(3) 資格審査

入学資格審査は、提出された申請書類により職歴、研究歴、研究業績等を総合的に勘案して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は、令和3年6月25日（金）に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は、出願手続を行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願受付期間

・持参の場合

令和3年7月20日（火）～30日（金）

受付時間 9時～17時

（ただし、土曜日、日曜日、祝日は受け付けません。）

・郵送の場合

簡易書留郵便とし、出願期間内に必着とする。

(2) 出願書類等提出先

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

信州大学医学部大学院係

(3) 出願方法

以下の①から③までの手続を行ってください。

※インターネット出願サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を提出することで完了します。

①インターネット出願サイトに出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

画面の指示に従い、必要事項を入力してください。

②入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

※コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払い）、ネットバンキング、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

※銀行窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。

※コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

③必要書類等の提出（郵送又は持参）

「(4) 出願書類等」を参照し必要書類をすべて揃え、入試事務室へ出願期間内に提出してください。

郵送する場合は市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、その封筒にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り、簡易書留速達郵便で郵送してください。

(4) 出願書類等

① インターネット出願登録後、申込み確認ページから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。内容に誤りがある場合は朱書きで訂正し提出してください。

出願書類等	書類の説明
出願確認票 (大学提出用)	A4 サイズの用紙に印刷してください (白黒印刷可)。
宛名ラベル 【郵送の場合のみ】	郵送により提出する場合、印刷したものを市販の角形 2 号封筒 (240 mm×332 mm) に貼り付け、出願書類を入れて郵送してください。

② 出願サイトでアップロードが必要なもの (郵送による提出不要)

出願書類等	書類の説明
写真	インターネット出願登録後、登録完了メールに記載されているリンク先から、志願者本人の写真 (出願 3 か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの) のアップロードを行ってください。

③ 本専攻のWEBサイトからダウンロード・印刷して準備する書類

出願書類等	書類の説明
履歴書 (様式 1)	高等学校卒業から現在に至る経歴 (国家試験合格を含む。) を年次に従い、もれなく記入してください。
志望理由書 (様式 2)	本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
受験承諾書 (様式 3)	志望する分野・領域の担当教員が作成したもの
受験及び修学承諾書 (様式 4)	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属の長が作成したもの
外国人留学生申請書 (様式 5)	外国人志願者のみ提出してください。
宛名票 (様式 6)	合格通知書等の送付先を記入してください。

④ 志願者自身が準備する書類

出願書類等	書類の説明
卒業 (見込) 証明書	出身学部の長が証明したもの (中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。)
成績証明書	出身学部の長が証明し、厳封されたもの (本学医学部出身者は不要)
住民票の写し 又は パスポートのコピー	外国人志願者のみ提出してください。現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行するもの) 1 通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー (氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分) を提出してください。
日本語能力試験 又は 日本留学試験成績通知書	外国の大学等を卒業 (修了) した外国人志願者のみ提出してください。公益財団法人日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験 (N1) 又は独立行政法人日本学生支援機構実施の日本留学試験 (日本語) の成績通知書のコピーを提出してください。(原本は、受験当日持参のこと。)

(5) 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願サイトからダウンロードします。システム上で登録された電子メールアドレスへ「受験番号お知らせメール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(白黒印刷可)

なお、印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。

※ 「受験番号お知らせメール」に記載のURLから<受験者心得>にアクセスし、専攻の受験者心得を印刷・熟読し、必ず試験当日に受験票とともに持参してください。

※ 「受験番号お知らせメール」が試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに入試事務室（出願書類提出先）にお問い合わせください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、筆答試験（外国語（英語））、面接の結果及び出願書類等を総合して行います。

筆答試験については、辞書（医学用語辞典を含む。）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。

試験日時・場所

期日	時間	試験科目等	試験場
令和3年 8月28日（土）	10：00～11：30	外国語（英語）	信州大学医学部 保健学科
	13：00～	面接	

6. 合格発表

令和3年9月2日（木） 10時

信州大学大学院医学系研究科ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。

なお、電話やメール等での可否の問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

令和3年9月6日（月）～9月21日（火）

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

(2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

(3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

8. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、書面により相談してください。

なお、重度の障害等のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

詳しくは、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談：https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html）をご覧ください。

(1) 提出期限 入学資格審査受付期間初日17時までに必着

(2) 提出先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室

〒390-8621松本市旭3丁目1番1号 電話 (0263) 37-3376 (直通)

(3) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

9. 注意事項

(1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する研究分野・領域の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報ポータル／入学検定料返還手続）をご覧ください。

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

信州大学大学院医学系研究科入試事務室

〒390-8621松本市旭3丁目1番1号

電話 (0263) 37-3376 (直通)

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

医学系研究科保健学専攻（修士課程） 入学案内

1. 標準修業年限 2年 ※

※【長期にわたる教育課程の履修】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で4年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本研究科において2年以上在学し、看護学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、検査技術科学分野については必修科目14単位、選択科目16単位以上、理学・作業療法学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、合計30単位以上（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースにあつては、専攻共通科目及び看護学分野の専門科目から、実習10単位、演習4単位、特別の課題研究4単位を含む必修科目38単位、選択科目8単位以上の合計46単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査（高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースの場合は、課題研究の成果の審査）及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 学位授与

看護学分野では修士（看護学）、検査技術科学分野及び理学・作業療法学分野では修士（保健学）の学位が授与されます。

4. 高度実践看護師（周麻酔期看護師）コース

保健学専攻（修士課程）では、周麻酔看護に特化した高度実践看護師（周麻酔期看護師）の養成コースを開設しています。

周麻酔期分野で、看護の専門性を高めたいと考えている方の入学を歓迎します。

なお、本コースへの出願は、看護師免許を有し、手術室（準ずる領域の場合は、志望する研究分野の担当教員又は大学院係に相談）で3年以上の看護経験を有することが望ましい。

5. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 （前期）267,900円 （後期）267,900円

金額は令和3年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

6. 奨学金

大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度（貸与）があります。

貸与金額、申請手続き等の詳細は、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>)

医学系研究科保健学専攻（修士課程） 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u. ac. jp」を省略してあります。

専攻	分野	領域	担当教員 メールアドレス	内容
保健学	看護学	成人・老年看護学	池上 俊彦 tikegami@	[専門領域] 外科学, 地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者におけるQOL改善のための研究や病診連携・病病連携に関する研究
			會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究, 2) 高齢者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究, 3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究, 4) 多職種連携教育の方法論と評価に関する研究
			伊澤 淳 izawa611@	[専門領域] 循環器内科学: 動脈硬化, 心不全, 高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防(一次予防), 地域の自治体および医師会との連携による疫学研究: 青少年の生活習慣病予防, 歯周疾患と全身疾患の関連について
			新井 清美 k_arai@	[専門領域] 成人看護学, アディクション [研究内容] 大学生や一般成人, アスリート等のアディクションのリスクを調査し, 対象やリスクレベルに応じたアセスメントツールの開発に取り組んでいる。また, 人の特性や習慣に応じた行動変容のための予防的アプローチとその評価を行っている。成人看護の対象となる人々の支援を検討するため, 質的・量的研究手法を用いた研究に取り組んでいる。
		母子看護学	金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学, 地域医療, 臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究, 早産回避の治療に関する研究, 地域における産科医療提供体制維持に関する研究, 出生前診断に関する研究
			平林 優子 ykehraba@	[専門領域] 小児看護学 [研究内容] 慢性疾患, 医療的ケアが必要な子どもの療養行動発達支援, 障害を持つ子ども, 医療的ケアが必要な子どもの在宅ケアなど
			中込 さと子 snakagomi@	[専門領域] 母性看護学・新生児看護学・遺伝看護学 [研究内容] 生殖補助医療, 周産期遺伝医療, 新生児集中ケア, 社会的ハイリスク妊娠に関するケア・ソーシャルサポート・システムに関する研究。遺伝情報に基づくゲノム医療における看護など
			玉井 真理子 mtamai@	[専門領域] 臨床心理学, 生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助, 遺伝医療における臨床心理学的介入の実際, 出生前診断と中絶をめぐる生命倫理, 重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理, ニューロエシックス, ほかに生命科学技術関連の倫理問題全般
		地域・国際・精神看護学	奥野 ひろみ hiromiok@	[専門領域] 地域看護学・国際看護学 [研究内容] 国内外のプライマリ・ヘルス・ケア, ヘルスプロモーション活動に関する研究, 保健師のソーシャル・キャピタルに関する研究, 保健師の力量形成, 研修に関する研究
			下里 誠二 sshimos@	[専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃性とその看護に関する研究, 司法精神看護における評価に関する研究, 精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。
			五十嵐 久人 higaras@	[専門領域] 地域・公衆衛生看護学 [研究内容] 生活習慣の実態把握や生活習慣改善に向けた支援に関する研究, QOLに関する研究, 労働者のメンタルヘルスに関する研究を行っている。
		検査技術	病因・病態検査学	太田 浩良 hohta@

保健学	検査技術科学	病因・病態 検査学	石田 文宏 fumishi@	[専門領域] 血液学, 血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患, 特に悪性リンパ腫を対象に, 遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また, 血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。
			長野 則之 naganon@	[専門領域] 薬剤耐性菌制御学, 感染制御学, 病原微生物学 [研究内容] 新生児や高齢者の B 群レンサ球菌侵襲性感染症の第一選択薬であるペニシリンに耐性を獲得したペニシリン低感受性 B 群レンサ球菌の分子学的解析を行っている。また, 世界的な蔓延が懸念されている薬剤耐性グラム陰性桿菌を中心に薬剤耐性メカニズムの解析や分子疫学的解析および病原性解析などを行っている。
			矢崎 正英 mayazaki@	[専門領域] 神経内科学, 代謝学, 蛋白質化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。
			松田 和之 kmatsuda@	[専門領域] 遺伝子・染色体検査学 [研究内容] 1) 遺伝子変異・SNP を標的とした定量 PCR 法を用いて, 病原体の鑑別や腫瘍細胞の量的変化のモニタリングなどの臨床応用を行っている。2) 遺伝子改変技術を用いて白血病や線維症などの難治性疾患について発症や病勢進行のメカニズムを明らかにし, 病態を把握できる新規マーカーの探索を行っている。
			安尾 将法 yasumasa@	[専門領域] 呼吸器内科学, COPD, 喘息, 呼吸器内視鏡診断・治療 [研究内容] 1) COPD 患者検体を使用した分子生物学的研究 (炎症, アポトーシスなど)。2) 喘息・COPD 患者の呼吸機能や画像に関する臨床研究。3) 呼吸器内視鏡 (気管支鏡) を用いた診断技術や治療技術の開発。
			山内 一由 yamauchi@	[専門領域] 臨床化学検査学 [研究内容] 動脈硬化症やアルツハイマー病の発症および病変形成におけるアポリポ蛋白 E の翻訳後修飾, 特に酸化修飾の病態生理学的意義を明らかにするため, 臨床化学的手法および分子生物学的的手法を用いて研究を行っている。
			木村 文一 kimura_f@	[専門領域] 細胞周期関連タンパク, 細胞増殖因子, 画像解析技術 (テクスチャ解析, 機械学習) [研究内容] 悪性腫瘍や前癌病変などの病理組織・細胞診標本に対して免疫組織・細胞化学的技術によりさまざまな特異なタンパク質の発現を可視化, その発現状態を画像解析技術, 統計モデル, 機械学習機などの AI 技術による客観的評価や人の目では判断できない微細な形態学的変化を捉えようとする研究を行なっている。
			樋口 由美子 sasa0922@	[専門領域] 免疫検査学 [研究内容] 1) 好中球 Netosis を臨床検査で検出できるように新規検査法を開発している。2) 血液疾患における病態発症のメカニズムを解明するために, iPS 技術を用いて免疫学的観点から研究を行っている。
	理学・作業療法学	理学療法学	木村 貞治 tkimura@	[専門領域] スポーツ理学療法, 運動学習, 虚弱高齢者の運動指導 [研究内容] スポーツ選手に対するスポーツ理学療法の介入効果に関する研究や, その背景にある神経生理学的特性の変化についての研究を行っている。運動学習では, 脳の機能的特性に基づいた理学療法の方略についての検討を行っている。虚弱高齢者の運動指導では, 継続的な運動指導の在り方やその効果についての研究を行っている。
			百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学, 呼吸循環の理学療法, 急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置, 筋電図, 床反力計, 加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析, 2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果, 3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた, 4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。

理学療法学	横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学, 公衆衛生学, 高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延, 活動能力の保持を目的として, 農村部を対象として縦断的に調査, 介入を行い, その評価の研究を行っている。特に転倒予防プログラム, 筋力向上トレーニング, 認知機能維持向上のための二重課題運動プログラムをテーマに活動している。
理学療法学	青木 薫 kin29men@	[専門領域] 整形外科学, リハビリテーション医学, 骨軟部腫瘍医学, バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究, 2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発, 評価, 3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発, 生体安全性評価などについての研究を行っている。
	西澤 公美 hitnishi@	[専門領域] 神経筋疾患, 筋疲労, 小児の理学療法 [研究内容] 神経筋疾患の筋疲労や活動量に関する研究, また, ロボットスーツ HAL を使用した筋ジストロフィーの運動機能等の変化について研究を行っている。
	野罵 一平 nojima@	[専門領域] 神経系理学療法, 医療健康データ科学 [研究内容] 脳を中心とする神経活動を可視化することで, 脳卒中患者などに対する新しいリハビリテーションの開発を目指している。特に, 非侵襲脳刺激手法を取り入れ, 脳の可塑的变化による行動変容に着目している。また保健医療分野におけるコホート研究のデータ解析や, 自治体との共同研究を通じた予防医療への参加も積極的に行っている。
作業療法学	寺田 信生 nobot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析;解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる, 細胞膜内~膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の, 生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら, 人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし, さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。
	小林 正義 mkobaya@	[専門領域] 精神障害作業療法学, 精神障害リハビリテーション学, 認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究, 2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究, 3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究, などを行っている。
	上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学, 生活支援科学, 高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。
	杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学, 神経内分泌学, 性差医学 [研究内容] うつ病, 躁うつ病の発症メカニズムを, 神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して, 医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
	務台 均 hitmutai@	[専門領域] 身体障害作業療法学 [研究内容] 1) 脳卒中や整形疾患に対するリハビリテーションの効果や長期予後に関する研究, 2) 脳卒中に合併する精神症状, 疲労および認知機能障害に関する研究
	佐賀里 昭 sagaria@	[専門領域] 作業療法学, がん作業療法学 [研究内容] がん作業療法のエビデンス構築に向けた研究に取り組んでいる。がん患者に対する Goal setting や Occupation-based intervention の有用性の検証, 化学療法誘発性末梢神経障害に対するアプローチ開発など。

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。